

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(強度計算書)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/4/8	NS2-添3-005-55	強度(計算書)(VI-3-3-3-6-2-3)	VI-3-3-3-6-2-3 高圧炉心スプレー補機海水ポンプの強度計算書	P.3	高圧炉心スプレー補機海水ポンプのボルトの強度評価について、強度評価部位を示す図ではボルト④→⑥の順で自重が大きくなっているが、使用状態における必要な最小ボルト荷重 Wm1 は④→⑥の順で小さくなっている理由を説明すること。	2022/7/22	Wm1については以下の式により求められます。 $Wm1 = \pi / 4 \times Dg^2 \times P + (\text{自重})$ Dg:セルフシールガスケットの外径 P:最高使用圧力 上記の式の通りWm1は内圧による荷重+自重の合計値であることから、一概に④→⑥の順で自重の大きき通りとはならず、Dgの値が④→⑥の順で小さくなることから、Wm1の値についても④→⑥の順で小さくなっております。	-	
2	2022/4/8	NS2-補-028改03	補足説明資料	工事計画に係る補足説明資料(各クラス機器の強度に関する計算書)	P.57	重大事故等クラス2ポンプの強度計算について、同型のポンプで支持構造物の強度評価対象が有るものと無いものがある理由を構造の違いを踏まえて説明すること。(例:同じ縦軸ポンプである原子炉補機海水ポンプは評価対象有り、残留熱除去ポンプは評価無し)	2022/7/22	設計・建設規格 SSC-3010に従い、支持構造物とケーシングが鑄造等の工法により一体構造のポンプについては支持構造物は評価対象外としており、ケーシングに溶接された支持構造物については評価対象としております。 (例:原子炉補機海水ポンプは支持構造物がケーシングに溶接されており、残留熱除去ポンプは支持構造物とケーシングが一体構造)	-	
3	2022/5/13	NS2-添3-004-11	強度(計算書)(VI-3-3-2-2-2-3-3)	VI-3-3-2-2-2-3-3 管(可搬)の強度計算書(燃料ブールスプレイ系)	P.4	(b-2)の記載のうち、設計・建設規格と設計許容応力の関係性が分かるように説明すること。	2022/7/22 2022/10/21	島根2号機では、SAクラス3機器の強度評価は“VI-3-2-13 重大事故等クラス3機器の強度評価方法”のとおり発電用原子力設備規格(設計・建設規格(2005年版(2007年追補版含む。))JSME S NC1-2005/2007)により評価を行っていることから、評価に用いる設計許容応力は同規格「GMR-2200 荷重の組合せと許容基準」の解説に基づき、降伏点に対して5/8基準とした値を適用しています。 なお、評価に用いる設計許容応力について、2008年度版以降の設計・建設規格では降伏点に対して2/3基準とした値に見直されてはいますが、現状の5/8基準とした値を用いた方が保守的な評価となります。	-	

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(強度計算書)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1～180は、NS2-他-167改04で整理済みのため省略。						
181	NS2-添3-004-06	VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書 (燃料プール冷却系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書 (新) VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書(燃料プール冷却系)	2023/3/24	
182	NS2-添3-004-06	VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書 (燃料プール冷却系)	P.3	概略系統図について以下を変更しました。(耐震計算書修正の反映) ・散水管の線種を太線へ変更	2023/3/24	
183	NS2-添3-004-06	VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書 (燃料プール冷却系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・破線の内容の誤記を修正 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
184	NS2-添3-004-09	VI-3-3-2-2-2-3-1 管の基本板厚計算書 (燃料プールのスプレイ系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-2-2-2-3-1 管の基本板厚計算書 (新) VI-3-3-2-2-2-3-1 管の基本板厚計算書(燃料プールのスプレイ系)	2023/3/24	
185	NS2-添3-004-10	VI-3-3-2-2-2-3-2 管の応力計算書 (燃料プールのスプレイ系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-2-2-2-3-2 管の応力計算書 (新) VI-3-3-2-2-2-3-2 管の応力計算書(燃料プールのスプレイ系)	2023/3/24	
186	NS2-添3-004-10	VI-3-3-2-2-2-3-2 管の応力計算書 (燃料プールのスプレイ系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・破線の内容の誤記を修正 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
187	NS2-添3-005-01	VI-3-3-3-1-1-1-1 管の基本板厚計算書 (原子炉再循環系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-3-1-1-1-1 管の基本板厚計算書 (新) VI-3-3-3-1-1-1-1 管の基本板厚計算書(原子炉再循環系)	2023/3/24	
188	NS2-添3-005-02	VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書 (原子炉再循環系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書 (新) VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書(原子炉再循環系)	2023/3/24	
189	NS2-添3-005-02	VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書 (原子炉再循環系)	P.3	概略系統図について以下を変更しました。(耐震計算書修正の反映) ・RPV接続モデルのモデル範囲をRPVノズルまで⇒ベッセルまでに修正 ・兼用範囲の記載修正 ・MV222-6の弁をベネ直付けへ修正	2023/3/24	
190	NS2-添3-005-02	VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書 (原子炉再循環系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・破線の内容の誤記を修正 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
191	NS2-添3-005-02	VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書 (原子炉再循環系)	P.5	鳥瞰図PLR-PD-2(SA)(1/5)について以下を変更しました。(耐震計算書修正の反映) ・破線範囲のノズルの線種を破線へ修正	2023/3/24	
192	NS2-添3-005-02	VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書 (原子炉再循環系)	P.7	鳥瞰図PLR-PD-2(SA)(3/5)について以下を変更しました。(耐震計算書修正の反映) ・破線範囲のノズルの線種を破線へ修正	2023/3/24	
193	NS2-添3-005-07	VI-3-3-3-2-2-1-1 管の基本板厚計算書 (給水系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-3-2-2-1-1 管の基本板厚計算書 (新) VI-3-3-3-2-2-1-1 管の基本板厚計算書(給水系)	2023/3/24	
194	NS2-添3-005-08	VI-3-3-3-2-2-1-2 管の応力計算書 (給水系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナップの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
195	NS2-添3-005-23	VI-3-3-3-4-1-6-1 管の基本板厚計算書 (高圧炉心スプレイ系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-3-3-4-1-6-1 管の基本板厚計算書 (新) VI-3-3-3-4-1-6-1 管の基本板厚計算書(高圧炉心スプレイ系)	2023/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
196	NS2-添3-005-23	VI-3-3-3-4-1-6-1 管の基本板厚計算書 (高圧炉心スプレイ系)	P.1	概略系統図について第一水源変更に伴い主要弁が変更(MV224-1削除, MV224-2追記)となったため適正化しました。	2023/3/24	
197	NS2-添3-005-23	VI-3-3-3-4-1-6-1 管の基本板厚計算書 (高圧炉心スプレイ系)	P.5	文中に記載している以下の図書名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-4-1-3「ストレーナ部ティーの応力計算書」 (新)VI-3-3-3-4-1-3「ストレーナ部ティーの応力計算書(高圧炉心スプレイ系)」	2023/3/24	
198	NS2-添3-005-24	VI-3-3-3-4-1-6-2 管の応力計算書 (高圧炉心スプレイ系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナッパの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
199	NS2-添3-005-30	VI-3-3-3-4-2-6-1 管の基本板厚計算書 (低圧炉心スプレイ系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-4-2-6-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-3-4-2-6-1 管の基本板厚計算書(低圧炉心スプレイ系)	2023/3/24	
200	NS2-添3-005-30	VI-3-3-3-4-2-6-1 管の基本板厚計算書 (低圧炉心スプレイ系)	P.5	文中に記載している以下の図書名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-4-2-3「ストレーナ部ティーの応力計算書」 (新)VI-3-3-3-4-2-3「ストレーナ部ティーの応力計算書(低圧炉心スプレイ系)」	2023/3/24	
201	NS2-添3-005-34	VI-3-3-3-4-3-3-1 管の基本板厚計算書 (高圧原子炉代替注水系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-4-3-3-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-3-4-3-3-1 管の基本板厚計算書(高圧原子炉代替注水系)	2023/3/24	
202	NS2-添3-005-34	VI-3-3-3-4-3-3-1 管の基本板厚計算書 (高圧原子炉代替注水系)	まえがきP.1,2	原子炉圧力容器(主蒸気)のSA最高温度圧力を考慮すべき範囲に対して、SA温度304°C圧力8.98MPaに適正化し、評価No見直しに伴い系統概略図等にも反映しました。	2023/3/24	
203	NS2-添3-005-35	VI-3-3-3-4-3-3-2 管の応力計算書 (高圧原子炉代替注水系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナッパの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
204	NS2-添3-005-40	VI-3-3-3-4-5-2-2 管の応力計算書 (低圧原子炉代替注水系)	P.5	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナッパの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
205	NS2-添3-005-44	VI-3-3-3-5-1-3-1 管の基本板厚計算書 (原子炉隔離時冷却系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-5-1-3-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-3-5-1-3-1 管の基本板厚計算書(原子炉隔離時冷却系)	2023/3/24	
206	NS2-添3-005-44	VI-3-3-3-5-1-3-1 管の基本板厚計算書 (原子炉隔離時冷却系)	まえがきP.1,2	原子炉圧力容器(主蒸気)のSA最高温度圧力を考慮すべき範囲に対して、SA温度304°C圧力8.98MPaに適正化し、評価No見直しに伴い系統概略図等にも反映しました。	2023/3/24	
207	NS2-添3-005-44	VI-3-3-3-5-1-3-1 管の基本板厚計算書 (原子炉隔離時冷却系)	P.3	文中に記載している以下の図書名称を適正化しました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-4-4-2「ストレーナ部ティーの応力計算書」 (新)VI-3-3-3-4-4-2「ストレーナ部ティーの応力計算書(原子炉隔離時冷却系)」	2023/3/24	
208	NS2-添3-005-45	VI-3-3-3-5-1-3-2 管の応力計算書 (原子炉隔離時冷却系)	設計基準対象施設:P.4 重大事故等対処設備:P.5	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナッパの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
209	NS2-添3-005-51	VI-3-3-3-6-1-6-1 管の基本板厚計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-6-1-6-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-3-6-1-6-1 管の基本板厚計算書(原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	2023/3/24	
210	NS2-添3-005-51	VI-3-3-3-6-1-6-1 管の基本板厚計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	2.原子炉補機海水系:全般	原子炉補機海水系の計算書について、放水槽への放水配管改造を反映しました。	2023/3/24	
211	NS2-添3-005-52	VI-3-3-3-6-1-6-2 管の応力計算書 (原子炉補機冷却系及び原子炉補機海水系)	(1)原子炉補機冷却系:P.9 (2)原子炉補機海水系(重大事故等対処設備):P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナッパの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
212	NS2-添3-005-58	VI-3-3-3-6-2-6-1 管の基本板厚計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心スプレイ補機海水系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-6-2-6-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-3-6-2-6-1 管の基本板厚計算書(高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心スプレイ補機海水系)	2023/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
213	NS2-添3-005-59	VI-3-3-3-6-2-6-2 管の応力計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却系及び高圧炉心スプレイ補機海水系)	(1) 高圧炉心スプレイ補機冷却系 (重大事故等対処設備):P.5 (2) 高圧炉心スプレイ補機海水系 (重大事故等対処設備):P.5	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
214	NS2-添3-005-64	VI-3-3-3-6-3-5-1 管の基本板厚計算書 (原子炉補機代替冷却系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-3-6-3-5-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-3-6-3-5-1 管の基本板厚計算書(原子炉補機代替冷却系)	2023/3/24	
215	NS2-添3-005-65	VI-3-3-3-6-3-5-2 管の応力計算書 (原子炉補機代替冷却系)	P.7	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
216	NS2-添3-006-04	VI-3-3-4-2-1-3-1 管の基本板厚計算書 (制御棒駆動水圧系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-4-2-1-3-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-4-2-1-3-1 管の基本板厚計算書(制御棒駆動水圧系)	2023/3/24	
217	NS2-添3-006-05	VI-3-3-4-2-1-3-2 管の応力計算書 (制御棒駆動水圧系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-4-2-1-3-2 管の応力計算書 (新)VI-3-3-4-2-1-3-2 管の応力計算書(制御棒駆動水圧系)	2023/3/24	
218	NS2-添3-006-05	VI-3-3-4-2-1-3-2 管の応力計算書 (制御棒駆動水圧系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・破線の内容の誤記を修正 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
219	NS2-添3-006-08	VI-3-3-4-3-1-3-1 管の基本板厚計算書 (ほう酸水注入系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-4-3-1-3-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-4-3-1-3-1 管の基本板厚計算書(ほう酸水注入系)	2023/3/24	
220	NS2-添3-006-08	VI-3-3-4-3-1-3-1 管の基本板厚計算書 (ほう酸水注入系)	全般	原子炉圧力容器のSA最高温度圧力を考慮すべき範囲に対して、SA温度304°C圧力8.98MPaに適正化し、評価結果等を追加しました。	2023/3/24	
221	NS2-添3-006-09	VI-3-3-4-3-1-3-2 管の応力計算書 (ほう酸水注入系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-4-3-1-3-2 管の応力計算書 (新)VI-3-3-4-3-1-3-2 管の応力計算書(ほう酸水注入系)	2023/3/24	
222	NS2-添3-006-09	VI-3-3-4-3-1-3-2 管の応力計算書 (ほう酸水注入系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
223	NS2-添3-006-11	VI-3-3-4-4-1-2-1 管の基本板厚計算書 (逃がし安全弁窒素ガス供給系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-4-4-1-2-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-4-4-1-2-1 管の基本板厚計算書(逃がし安全弁窒素ガス供給系)	2023/3/24	
224	NS2-添3-006-12	VI-3-3-4-4-1-2-2 管の応力計算書 (逃がし安全弁窒素ガス供給系)	P.8	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
225	NS2-添3-008-02改01	VI-3-3-6-1-1-2-1 ダクトの強度計算書 (中央制御室空調換気系)	P.9,16	計算式に誤記があったため、記載を適正化しました。また、計算式の修正に伴い関連する文章を分かりやすくするため一部修正しました。	2023/3/24	
226	NS2-添3-008-08	VI-3-3-6-1-3-2-1 管の基本板厚計算書 (緊急時対策所換気空調系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-6-1-3-2-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-6-1-3-2-1 管の基本板厚計算書(緊急時対策所換気空調系)	2023/3/24	
227	NS2-添3-008-09	VI-3-3-6-1-3-2-2 管の応力計算書 (緊急時対策所換気空調系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-6-1-3-2-2 管の応力計算書 (新)VI-3-3-6-1-3-2-2 管の応力計算書(緊急時対策所換気空調系)	2023/3/24	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
228	NS2-添3-008-09	VI-3-3-6-1-3-2-2 管の応力計算書 (緊急時対策所換気空調系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・破線の内容の誤記を修正 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
229	NS2-添3-008-09	VI-3-3-6-1-3-2-2 管の応力計算書 (緊急時対策所換気空調系)	P.6	鳥瞰図EMR HVAC-E-A1(SA)(2/3)について以下を変更しました。(耐震計算書修正の反映) ・流量計の記号に「流量計」の文言追加	2023/3/24	
230	NS2-添3-009-29	VI-3-3-7-2-2-1-2 管の応力計算書 (格納容器代替スプレイ系)	P.4	耐震計算書との記載統一のため、概略系統図について適正化しました。(下線部参照) ・RHARからの繋ぎ込みの記載 (旧)B-残留熱除去系より (新)残留熱代替除去系より	2023/3/24	
231	NS2-添3-009-29	VI-3-3-7-2-2-1-2 管の応力計算書 (格納容器代替スプレイ系)	P.5	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
232	NS2-添3-009-30	VI-3-3-7-2-2-3-1-1 管の基本板厚計算書 (ペDESTAL代替注水系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-7-2-2-3-1-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-7-2-2-3-1-1 管の基本板厚計算書(ペDESTAL代替注水系)	2023/3/24	
233	NS2-添3-009-31	VI-3-3-7-2-2-3-1-2 管の応力計算書 (ペDESTAL代替注水系)	P.4	耐震計算書との記載統一のため、概略系統図を変更しました。(・A-残留除去系熱交換器からの繋ぎ込みを修正	2023/3/24	
234	NS2-添3-009-31	VI-3-3-7-2-2-3-1-2 管の応力計算書 (ペDESTAL代替注水系)	P.5	耐震計算書との記載統一のため、概略系統図について適正化しました。(下線部参照) ・RHARからの繋ぎ込み記載修正 (旧)B-残留熱除去系より (新)残留熱代替除去系より	2023/3/24	
235	NS2-添3-009-31	VI-3-3-7-2-2-3-1-2 管の応力計算書 (ペDESTAL代替注水系)	P.6	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
236	NS2-添3-009-36	VI-3-3-7-3-1-1-1 管の基本板厚計算書 (非常用ガス処理系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-7-3-1-1-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-7-3-1-1-1 管の基本板厚計算書(非常用ガス処理系)	2023/3/24	
237	NS2-添3-009-37	VI-3-3-7-3-1-1-2 管の応力計算書 (非常用ガス処理系)	P.5	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
238	NS2-添3-009-39	VI-3-3-7-3-2-1-1 管の基本板厚計算書 (窒素ガス代替注入系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-7-3-2-1-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-7-3-2-1-1 管の基本板厚計算書(窒素ガス代替注入系)	2023/3/24	
239	NS2-添3-009-40	VI-3-3-7-3-2-1-2 管の応力計算書 (窒素ガス代替注入系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
240	NS2-添3-009-43	VI-3-3-7-4-1-2-1 管の基本板厚計算書 (窒素ガス制御系)	表紙	評価対象機器及び用途が分かるよう、図書名称の適正化を行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-3-7-4-1-2-1 管の基本板厚計算書 (新)VI-3-3-7-4-1-2-1 管の基本板厚計算書(窒素ガス制御系)	2023/3/24	
241	NS2-添3-009-44	VI-3-3-7-4-1-2-2 管の応力計算書 (窒素ガス制御系)	P.4	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	
242	NS2-添3-009-47	VI-3-3-7-5-1-2-2 管の応力計算書 (格納容器フィルタベント系)	P.6	鳥瞰図記号凡例について以下を変更しました。 ・レストレイント及びスナツバの記号凡例を、斜め拘束の場合とそうでない場合に分けて記載	2023/3/24	